

2025年2月1日

日本歯科衛生学会雑誌 電子ジャーナル化に関するご質問、ご意見等への回答

日本歯科衛生学会 編集委員会

日本歯科衛生学会雑誌(以下、学会雑誌)電子ジャーナル化につきましては、ご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

2024年7月12日～9月30日まで日本歯科衛生学会(以下、学会)ウェブサイトおよび第19回学術大会会場にてご質問やご意見を募りました際、ご質問、ご意見等をお寄せいただいた皆様に改めて御礼申し上げます。いただいたご質問、ご意見、ご要望に対し、以下に回答いたします。

※質問内容等は、原文ママです。

Q:案内文に「すでに日本歯科衛生士会ウェブサイトでお知らせしたとおり…」とありますが、いつ頃ウェブサイトに掲載されていますか?過去1年間遡ってみました、電子ジャーナル化に関するお知らせが見当たりませんでした。会員への周知が不十分ではないでしょうか?

A:2024年6月28日に日本歯科衛生士会ウェブサイト内、「日本歯科衛生学会」ページで電子ジャーナル化のご案内を掲載し、その後2024年8月発行の学会雑誌19巻1号137頁でもお知らせいたしました。これからも学会雑誌や歯科衛生だより会報、ウェブサイト等で皆様に周知して参ります。

Q:電子ジャーナル化に伴うメリット・デメリットをもう少し詳しく教えてください。

A:メリットとして、以下が挙げられます。

- ・いつでもWeb上で学会雑誌を読むことができる。
- ・Web上から読みたい論文をダウンロードして印刷することができる。
- ・他職種から論文にアクセスしてもらいやすくなる。
- ・会員外の方に本学会の情報を共有してもらいやすくなる。
- ・学会運営のコストをスリム化し、新しい事業に経費を利用することができる。

デメリットとしまして、以下が挙げられます。

- ・電子媒体に慣れていない方々には不便になる可能性がある。

Q:オープンアクセスジャーナルになるのでしょうか?

A:電子ジャーナル化に使用するプラットフォームはJ-STAGEを採用いたします。J-STAGEでは、フリーアクセスで誰でも無料で雑誌に閲覧できるようにします。他職種にも本学会および歯科衛生士という職種を広めることができると考えます。

Q:論文投稿料はどのようになるのでしょうか?

A:現在の学会雑誌では投稿料はございません。雑誌掲載の際の著者負担費用は刷り上がり5頁を超えた際の掲載料、カラー印刷を希望した場合の掲載料でした。電子化にあたり、投稿料、掲載料について検討を行っています。決定次第ウェブサイトにてお知らせします。

また、以下のご意見、ご要望を頂戴いたしました。

- ・電子ジャーナル化には一部賛成ですが、会員特典として、紙媒体での雑誌の発行の継続を希望いたします。
- ・電子ジャーナル化には賛成ですが、学会参加者にはこれまでと同じように雑誌の形で配布をしていただきたい。
- ・電子ジャーナル化に賛成。学会員は閲覧無料希望。
- ・電子ジャーナル化には賛成いたしますが、暫くは雑誌と併用して発行することを希望します。
- ・不便になると感じます。選択肢を作ってほしい。
- ・電子化には賛成です。しかし、冊子での購入希望が多ければ、対応しても良いのかなとも思います。他の医療系学会の対応も参考になるかと思えます。
- ・選択制とし、必要な人には別料金での購入も良いと思います(最高 1,500 円まででしたら購入します)。
- ・安くない会費を払っているのだから、紙で送ってほしい。
- ・昨今、多くの学会が電子ジャーナル化されています。ペーパーレスの時代ですし、いろいろ利点があるからそうなっているのだと推測しています。学会がハイブリッドになって、雑誌も電子化になると、学会離れが気になります。発表演目だけでもペーパーで周知するなど、すべてパソコンやスマホからアクセスしないとみられないのは、本当に興味がある人しかアプローチしないのではないかと危惧しています。

以上のご意見、ご要望に回答いたします。

会員の皆様には紙媒体での雑誌発行の継続を検討いたしました。雑誌発行費用および発送費用と電子ジャーナル化との費用について比較するなど、総合的に判断して学会雑誌の紙媒体による発行は廃止することといたしました。会員の皆様にとって有益となるよう努めて参ります。学会雑誌の電子化による発行の時期は、従来通りの 8 月、2 月を予定しております。また、論文および学術大会抄録集は、学会ウェブサイトでもどなたでも無料で自由に閲覧、ダウンロード、印刷ができるようにいたします。紙媒体の学会雑誌の発行は廃止いたしますが、学術大会抄録集については、紙媒体の作成を検討中です。決定事項は、学会ウェブサイトでお知らせいたします。

ほか、以下の賛成のご意見を頂戴いたしました。

- ・移動中など、空いた時間に読みたいので電子ジャーナルになると便利。
- ・他学会でも電子ジャーナル化にしているので賛成。
- ・データの方が管理しやすいため、電子ジャーナル化に賛成。
- ・電子化されると、配送のコストなどが減るのでいいのかなと感じます。また、自宅にずっと取っておく際の場所問題もありますので、いいかと思えます。
- ・是非進めてもらいたい。とっておきたいが、場所もなくして仕方なく処分していることもあります。また、いつでも手軽に読めそうなので、いいと思えます。バックナンバーも読めるようにしてもらえると助かります。

貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

バックナンバーについても、閲覧できるように検討を進めてまいります。

今後も、学会雑誌の電子ジャーナル化については、会員の皆様に、電子化の周知とともに、利用方法も、学会ウェブサイト、公式 X、日本歯科衛生士会 Instagram 等でお知らせしてまいります。

今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。